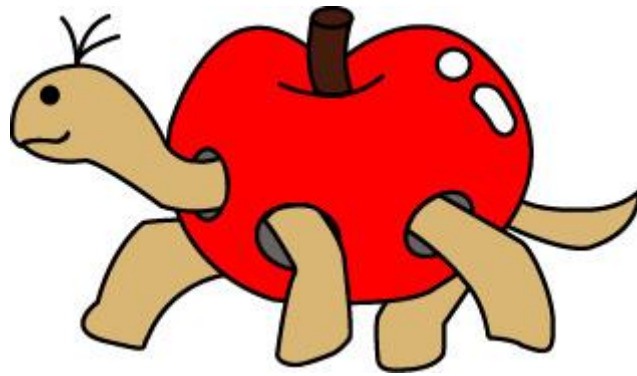


タブレットPC スタート book



この冊子^{さつし}は、最初にタブレットを使う時や
こま^{こま}困ったときに使うものです。大切に保管^{たいせつ ほかん}
しておいてください。

大田区立入新井第五小学校








年 組

名前 ()

※ この冊子^{さつし}は、学校^{がっこう}のタブレット画面^{がめん}などを撮影^{さつえい}して、作^{つく}っています。無断^{むだん}でコピーしたりして
はいけません。

0. タブレットの用語

▶ 操作に関する用語

<p>タップ</p> 	<p>画面を1回おします。</p>	<p>タップした項目を開いたり、えらんだりします。</p> <p>マウスでクリックするのとおなじです</p>
<p>ダブルタップ</p> 	<p>画面をすばやく2回おします。</p>	<p>ソフトを「きどう」するときに使います。</p> <p>ダブルクリックとおなじです。</p>
<p>長押し</p> 	<p>指を押しつけて約1秒間そのままにします。</p>	<p>項目の詳細情報が表示されるか、メニューが開きます</p> <p>マウスで右クリックするのとおなじです。</p>
<p>ピンチ (ピンチイン)</p> 	<p>2本以上の指で指を互いに近づけます。</p>	<p>表示が小さく縮小されます。</p>
<p>ストレッチ (ピンチアウト)</p> 	<p>2本以上の指で指を互いに遠ざけます。</p>	<p>表示が大きく拡大されます。</p>
<p>スライド</p> 	<p>画面上の一点を指先で軽く押さえ、そのまま離さず、画面上をなぞるように動かします。</p>	<p>画面の表示内容を移動「スクロール」させたり、押さえた項目の「移動」「並べ替え」などをおこなったりします。</p> <p>マウスでドラッグ (左ボタンを押したままマウスを移動) するのとおなじです。</p>
<p>スワイプ</p> 	<p>画面上の一点を指先で軽く押さえ、そのまま離さず、画面上をすばやく、短く、動かします。</p>	<p>押さえた項目を移動させたり、画面の端に隠されたメニューを引き出したり、引っ込めたりします。</p>

1. 電源の入れ方、切り方、キーボード操作

電源の入れ方

天板を開くと自動的に電源が入ります。

※天板を開いた状態で電源を入れたい場合は、

キーボードの右側の電源ボタンを押すと電源が入ります。



電源の切り方

天板を閉じると自動的に電源が切れます。

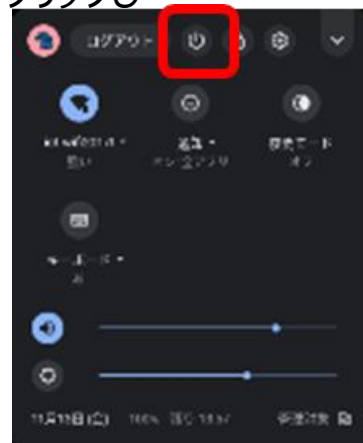
※天板を開いた状態で電源を切りたい場合は、ステータストレイ

(ディスプレイ右下の時計などが表示されている小窓) をクリックし

てメニューを表示させます。



電源のアイコンをクリックすると電源が切れます。



2.Chromebook のキーボード

がっこう しょう クロームブック いま つか
 学校で使用するChromebookは、今まで使っていたパソコンと、キーボードの配列
 が違います。(WINDOWSマシン→「JIS配列」Chromebook→「US配列」)
 少しずつ慣れていきましょう。

【Chromebook キーボード】



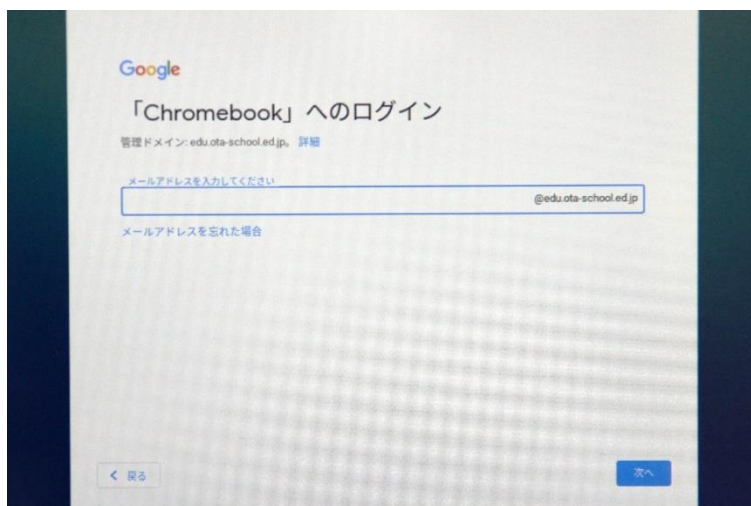
ばんごう 番号	そのキーの役割 やくわり	ばんごう 番号	そのキーの役割 やくわり
1	まえ 前のページにもどる	7	おんりょう ちい 音量を小さくする
2	つぎ 次のページに進む	8	おんりょう おお 音量を大きくする
3	いま 今のページをもう一度読み込む	9	にほんご えいすうもじ き か 日本語と英数文字の切り替え※1
4	がめん くら 画面を暗くする	10	シフトキー - おな Shiftキーと同じ
5	がめん あか 画面を明るくする	11	ひとつまえ もじ を け 一つ前の文字を消す
6	おと だ 音を出さなくする	12	ランチャーが開く

※1 くぼ じょうたい にほんご じにゅうりょく にゅうりょく か
 配られた状態では日本語はローマ字入力です。(カナ入力にも変更されま
 す。先生に聞きましょう。)

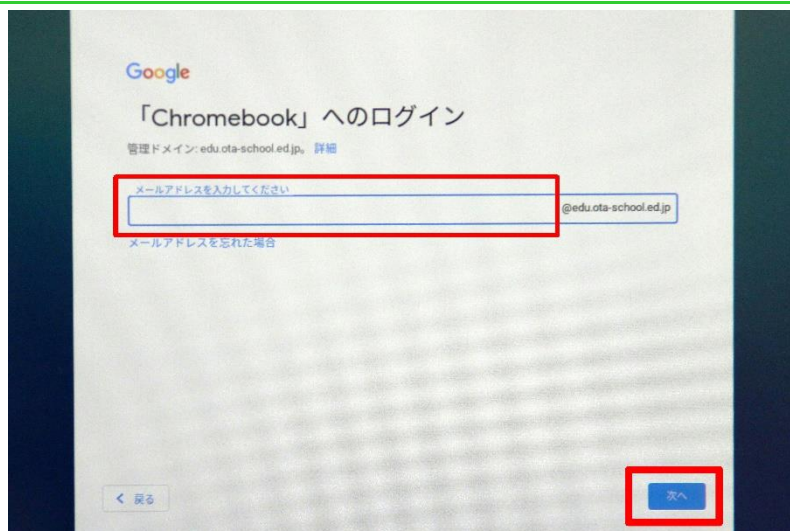
※2 カーソルのうえ 文字 け
 カーソルの上の文字を消すときは⑫をおしながら⑪をおします。

3.ログインする(初めての^{はじ}ばあ^いい)

① ^{てんばん} ^{ひら}天板を開く(つぎの^{がめん}画面が出る)



② ^{じぶん}自分のIDを^{アイディー}入力して、^{にゆうりよく}「次へ」を^{つぎ}クリック。

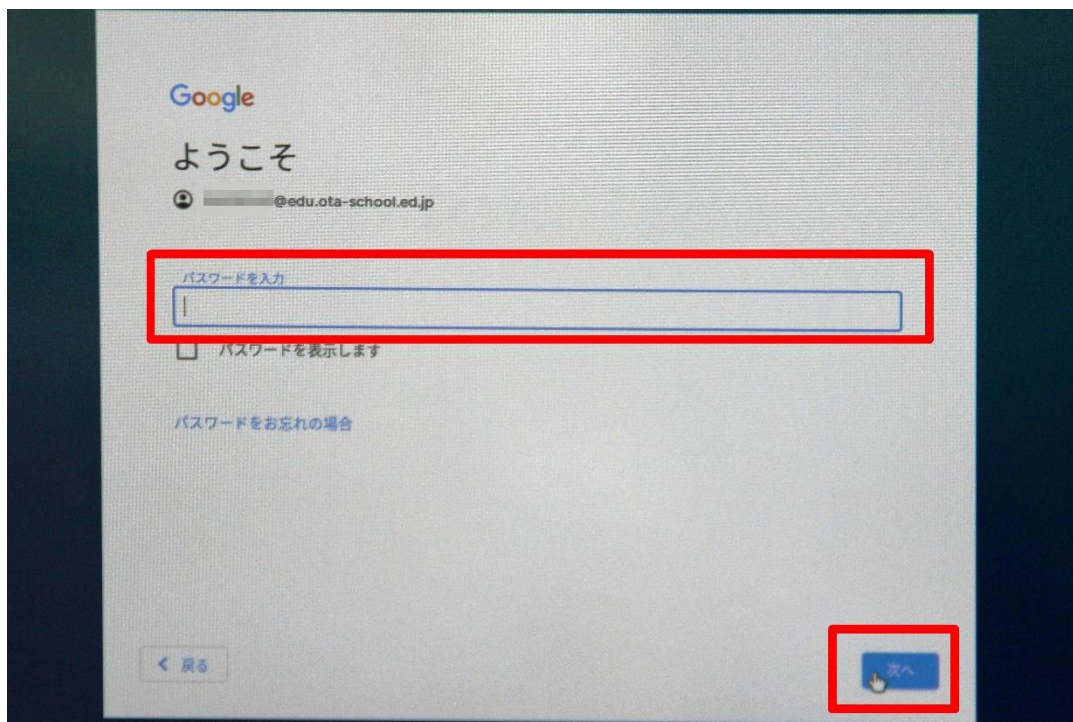


メモ

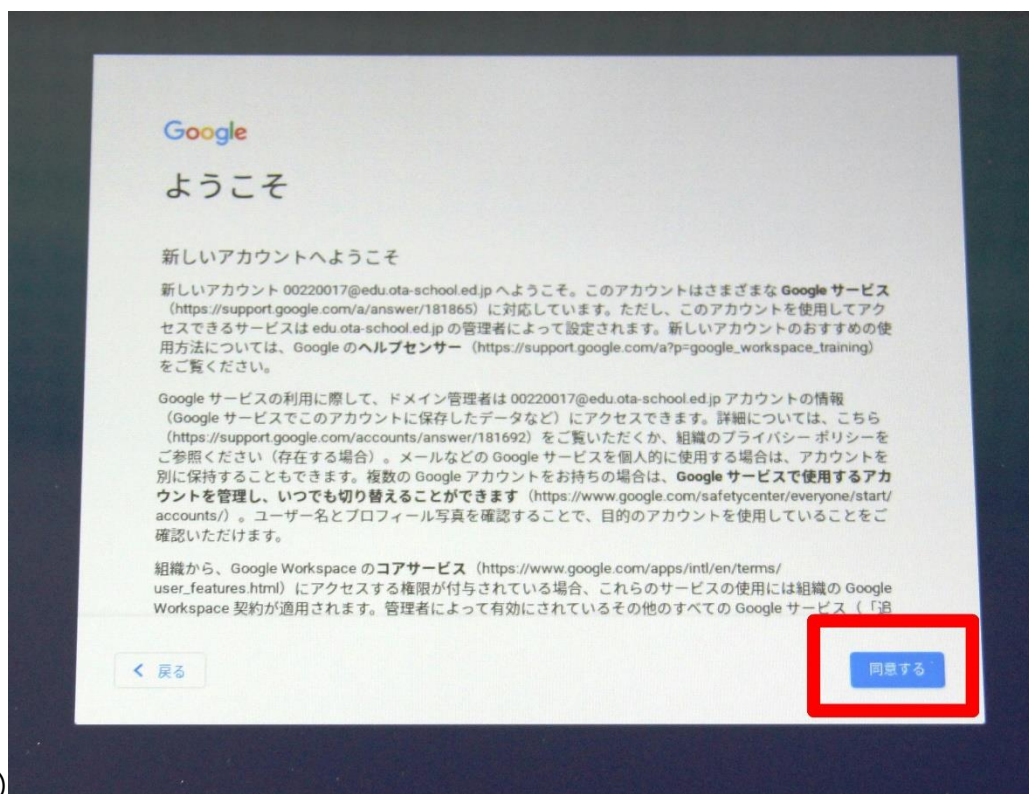
この画面で「^{がめん}@edu.ota-school.ed.jp」が出てこないときは、これも^{にゆうりよく}入力するか、一度^{いちど}電源^{でんげん}を^き切ると出てくるようになります。

タブレットPCの使い方簡易マニュアル

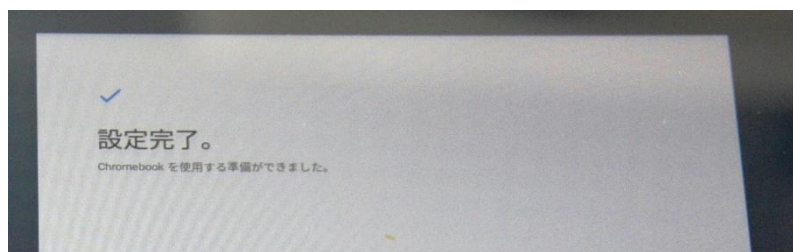
- じぶん にゆりよく つぎ
③自分のパスワードを入力して「次へ」をクリック。



- がめん どうい
④「ようこそ」の画面が出てくるので、「同意する」をクリック。

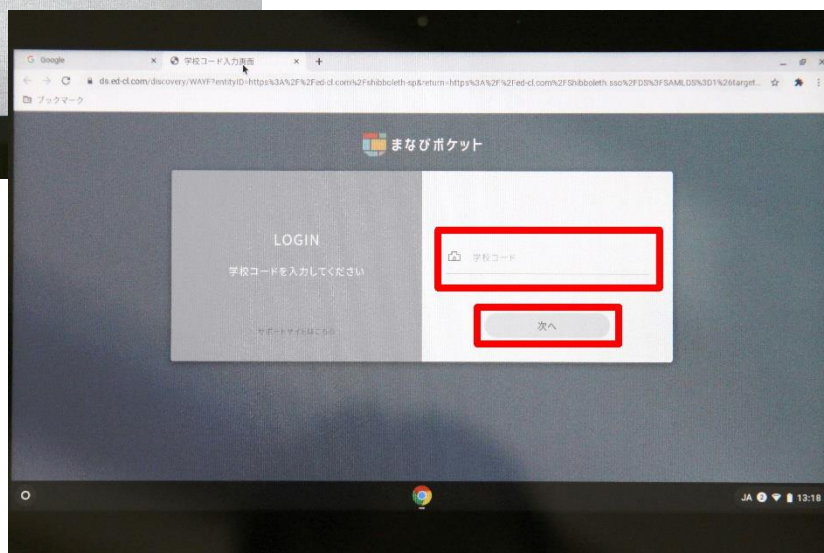
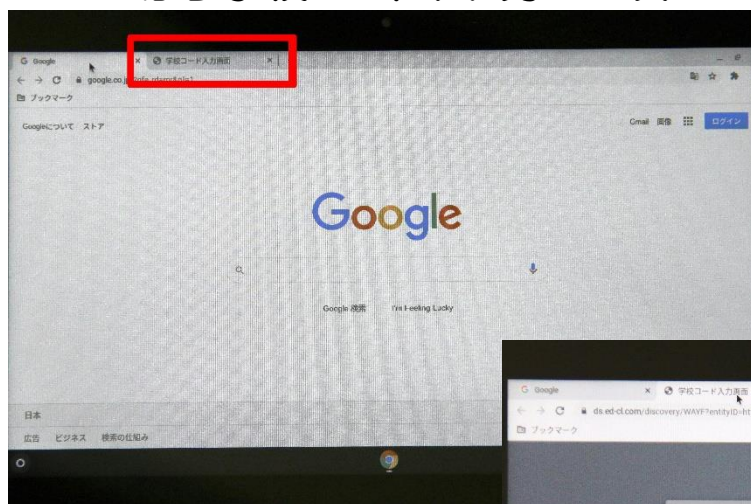


- ⑤「設定完了」の画面が出てくるので、「OK」をクリック。

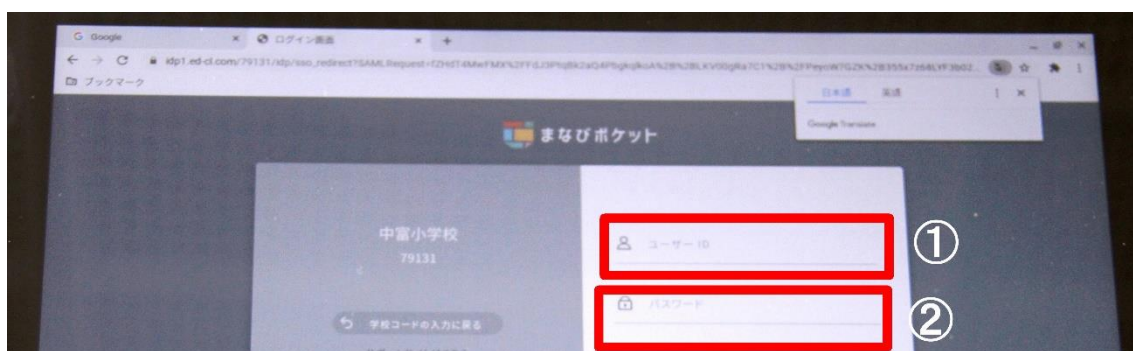


タブレットPCの使い方簡易マニュアル

- がっこう にゆりよくがめん
- ⑥ 学校コード入力画面のタグをクリックし、まなびポケット
がっこう にゆりよく つぎ
画面から学校コード入力して次へ。



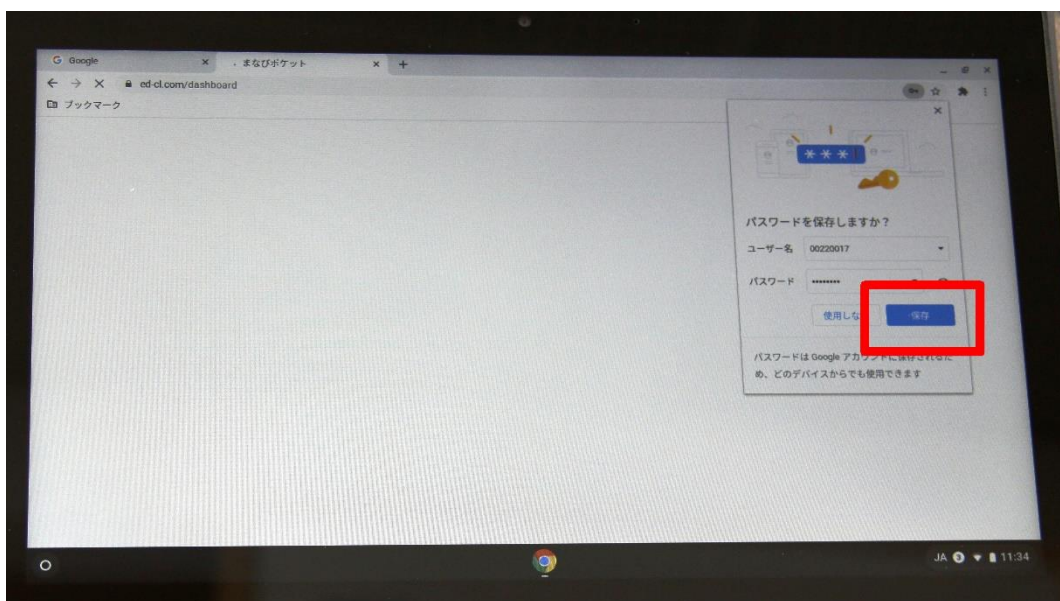
- ⑤ まなびポケットのID・パスワードを入力してログイン



メモ

ここで、下の様にパスワードの保存が求められます。今回は、保存をおすすめします。

(保存しない方がいいときもあるので、注意しましょう。)

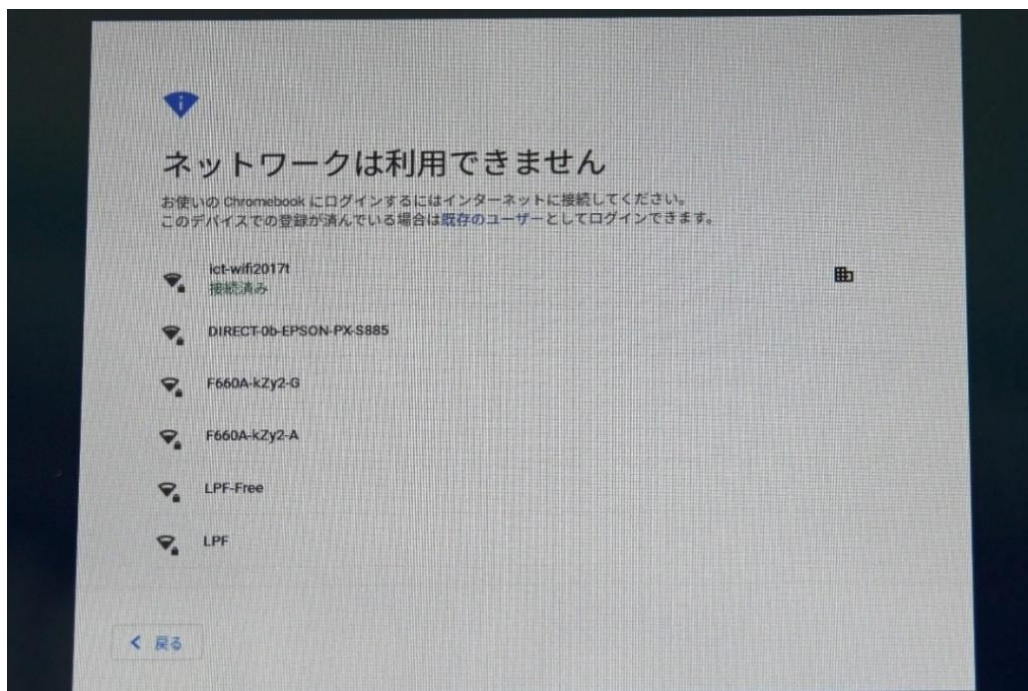


これで、最初のログインは終わりです。

メモ

作業中、下の様な画面が出た場合は、ネットワークにつながるまで、様子をみます。あわてて電源を切ったりしないでください。

(状況が回復しない場合は、先生に伝えてください。)

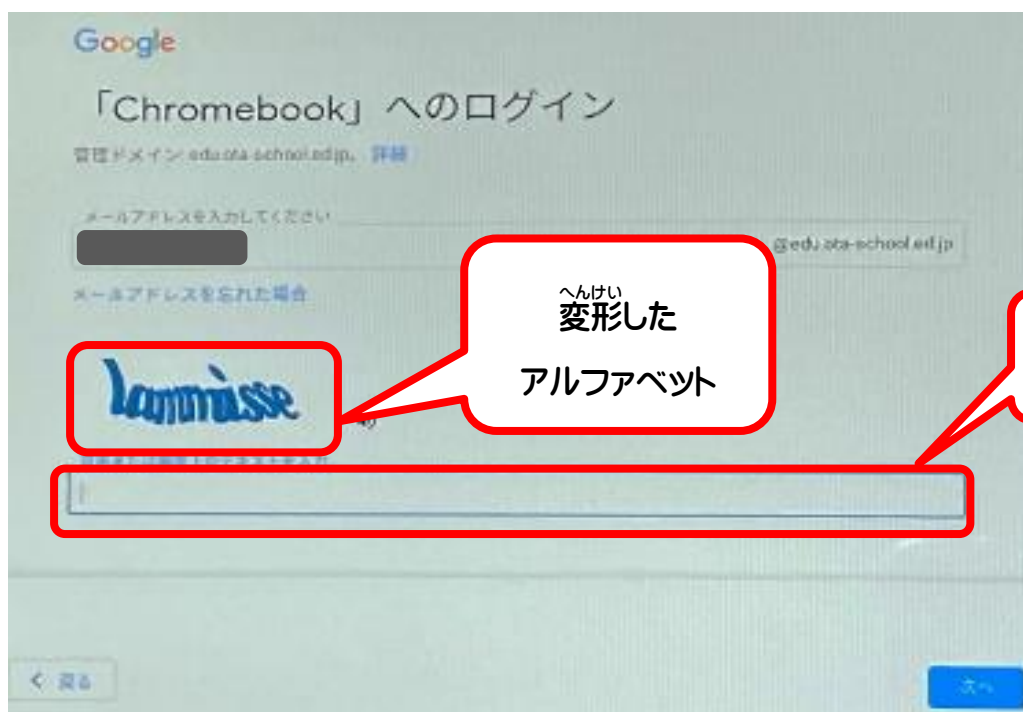


- ※ ^{こうない}校内や^{ない}クラス内で、^{いちど}一度に^{つか}たくさんのタブレットを使って
いると、よく^お起こる^{げんしょう}現象です。
しばらくの^{あいだ}間は、^{つか}使う^{じかん}時間を^{はず}ずらすなどするとよいかもしれ
ません。(早く^{はや}終わった人は、^{ひと}タブレットを^と閉じてあげると
つながりやすくなります)

メモ

^{おな}同じIDで^{ふくすう}複数のパソコンでChromebookにログインした
^{とき}時など以下の画面のように^{へんけい}変形したアルファベットの^{にゅうりよく}入力
^{もと}を求められることがあります。

タブレットPCの使い方簡易マニュアル



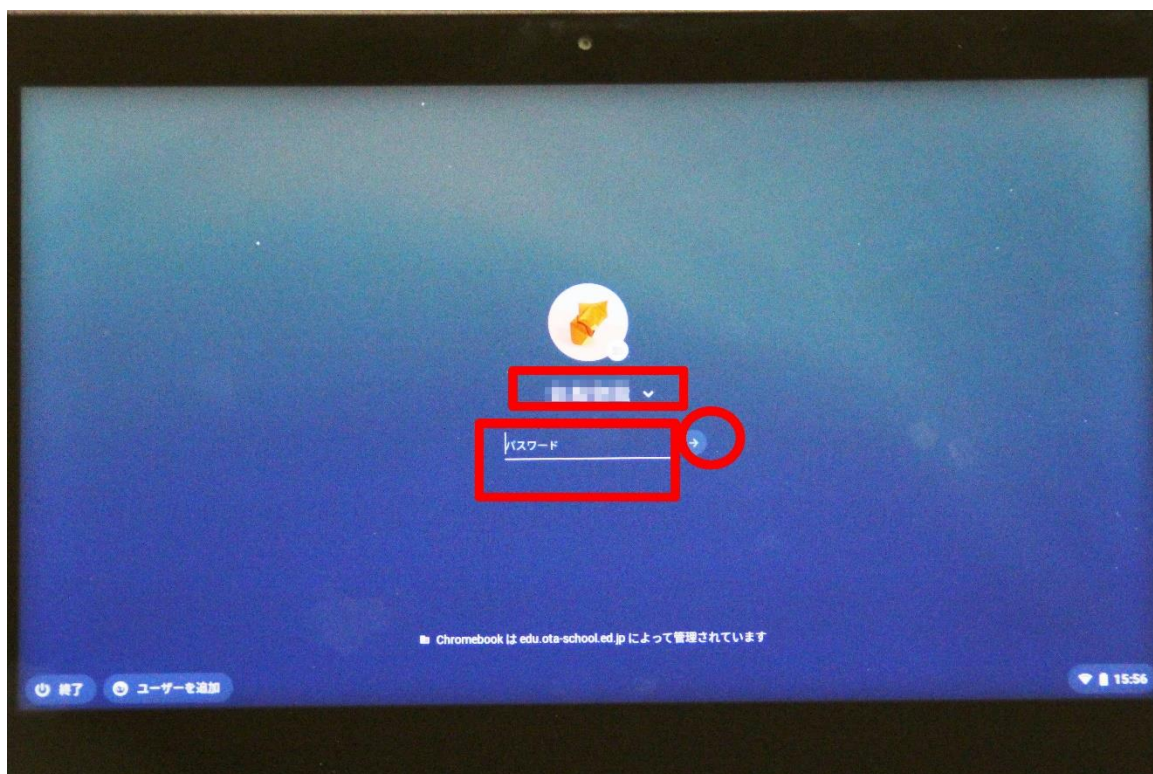
よ
読みづらいので、まちがえてしまうこともありますが、その場合は、別の
ばあい べつ
文字が出てくるので、く かえ
繰り返してください。

メモ

2回目以降は、天板を開くと次のような画面が出てきます。

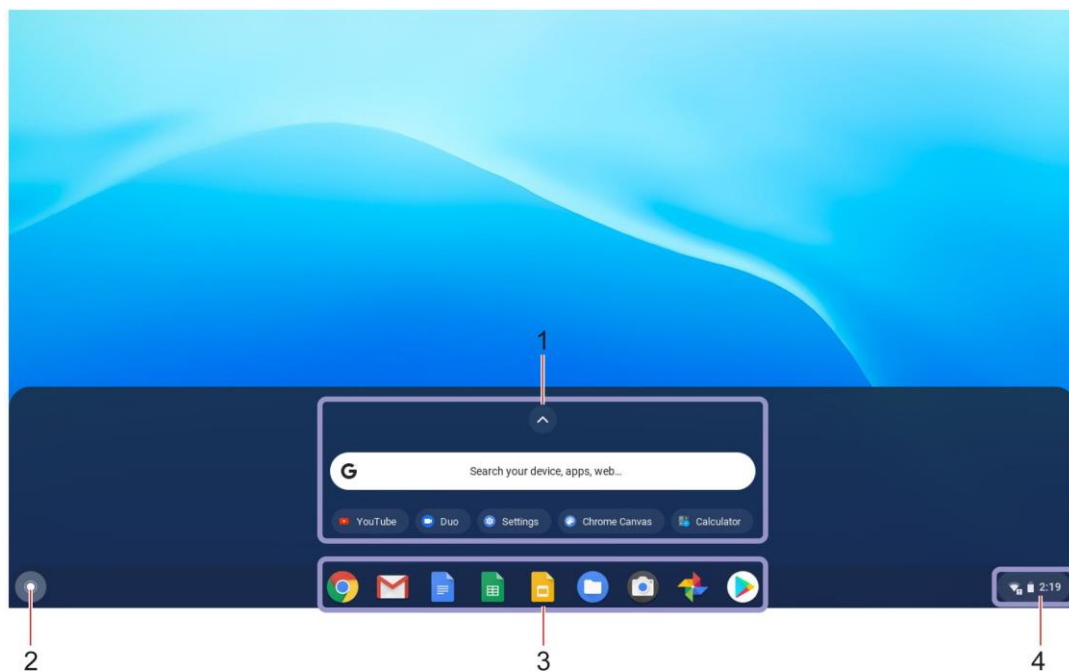
自分の名前が出てきていることを確認しましょう。

パスワードを入れて「⇒」をクリックすれば、ログインができます。



自動で電源が入らない場合は、キーボード右側の電源ボタンを押してください。

4.Chromebook基本画面



1	<p>けんさく 検索ボックス</p> <p>アプリ・ランチャー</p>	<ul style="list-style-type: none"> けんさく 検索ボックス アプリ・ランチャーにひょうじされるアプリをクリックすると、すぐにアプリがひらきます。
2	ランチャー・ボタン	<ul style="list-style-type: none"> けんさく 検索ボックスとアプリ・ランチャーをひらきます。
3	シェルフ	<ul style="list-style-type: none"> アクセスしやすいようにひんぱんしようするアプリやWeb ページをシェルフにピンととめできます。
4	システム・トレイ	<ul style="list-style-type: none"> ネットワーク接続状 況、バッテリー状 況、時刻がひょうじされています。

5.まなびポケットの使い方(基本)

1【ホーム画面】



①アプリ

いろいろなアプリケーションがあります。先生の指示で、使います。自分で、自由に進めていってよい場合もあります。(担任の先生の指示にしたがいましょう)

※それぞれの使い方は、授業で習います。

②お知らせ

担任の先生や学校からのお知らせがとどきます。クリックすると、内容
を見ることができます。

※クリックすると「チャンネル」画面が、表示されます。しばらくは、子ども
は、先生や学校からの連絡を読むだけにしてください。
勝手にメッセージを書き込んだり、ファイルを投稿したりしては、いけません。

2 【チャンネル】

担任の先生からのメッセージや宿題が見られるところです。先生やクラス
の友達とメッセージのやりとりができます。

※しばらくは、自分でメッセージの書き込みはしません。

自分でメッセージを書き込めるようになったときは、ルールを守って、
人の悪口などは、絶対に書いてはいけません。

3 【ストレージ】

データのやりとりができる場所ですが、しばらくは使いません。

4 【ログ】

自分の学習の記録や、メッセージの書き込み記録などが見られます。

この記録は、先生も見ることができます。